

「道内の感染状況等について（道案）」に対する主な意見

1 有識者・専門家等の意見

1-①

感染源を特定して、感染拡大を強力に抑えることが大切。

具体的にどのような場面が感染の場となっているかを若年層など、行動変容が特に必要な者に対してしっかりと伝えてほしい。

1-②

道案に対し特に異論はない。

医療機関での集団発生が続いているが、ワクチン接種への影響が懸念されるため引き続き周知をお願いしたい。

1-③

資料は問題無い。

北海道も国にまん延防止等重点措置を要請すべき。

1-④

道内での10万人当たり新規感染者数が既に15人を超え、札幌市内を中心とした感染状況の更なる悪化が懸念される中で、より危機感を持って道民の皆様に行動変容をお願いするためには、まん延防止等重点措置の国への要請を速やかに判断する必要がある。

2 関係団体の意見

2-①

明日、5月1日から本格的なゴールデンウィークに突入する。

道民がより一層の強い危機感を持ち、主体的に感染抑止に向けた行動を取り、この局面を乗り越えていかなければならない。

そのためには、不要不急の外出自粛などを徹底させるべく、より具体的な、例えば、新規陽性者数の市町村別の公表など、より効果的な、時宜を逸しない情報発信を期待したい。

2-②

全道の新規感染者数（10万人当たり21.5人/週）が道の警戒ステージ4の目安（10万人当たり15人/週）を超える状況が継続していることから、まん延防止等重点措置を国に要請する必要がある。